



Infor LN キット処理ユーザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	crosskitug (U9540)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017 年 12 月 19 日

目次

文書情報

第1章 販売におけるキット処理.....	7
販売におけるキット処理の概要.....	7
構成要素ライン.....	7
販売部品表.....	7
構成要素処理.....	8
構成要素処理 - 構成要素ライン.....	8
構成要素処理 - 販売部品表.....	11
ファントムレベルのスキップ.....	12
構成要素の表示.....	14
剰余の処理.....	14
販売オーダー単位と丸め係数.....	15
剰余の評価.....	15
剰余数量の請求.....	15
第2章 倉庫管理におけるキット処理.....	17
倉庫管理でのキット処理の概要.....	17
キット処理のサポートと出荷構造の設定.....	18
コンポーネント品目を納入するには - 手順.....	19
販売および倉庫オーダー構造.....	20
出荷構造.....	22
単一オーダー設定.....	22
出荷構造の構成 - コンテナ処理.....	23
マニュアル.....	23
自動.....	23
適用なし.....	23
(自動) コンテナへの出荷のリンク.....	24
出荷規則.....	25
キットを完全に出荷制約.....	26
構成要素ラインの変更が与える出庫オーダーラインおよび出荷ラインへの影響.....	29
付録A 用語集.....	31

文書情報

この文書では、販売および倉庫管理における構成要素の処理について説明します。

本書の対象

本書は、キット処理の担当者を対象としています。主要なユーザ、導入コンサルタント、製品設計者、サポート担当者などが対象となります。

文書の概要

章番号	内容
第 1 章	販売におけるキット処理
第 2 章	倉庫管理におけるキット処理

本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックから構成されています。このため、マニュアルの他のセクションへの参照が次の例のように示されています。

詳細については「はじめに」を参照してください。参照先セクションの場所を特定するには、「目次」を参照するか、文書末尾の「索引」を使用してください。

本書の末尾に用語集があります。用語集で説明されている語は、次の例のように表示されます。

共通情報で、住所を取引先にリンクできます。

本書をオンラインで表示する場合、下線付きの語をクリックすると用語集の用語定義に移動します。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡ください。まずようお願いいたします。

第1章

販売におけるキット処理

1

販売におけるキット処理の概要

販売オーダー手順で、主品目の代わりに構成要素を納入できます。構成要素は、構成要素ラインまたは販売部品表によって処理できます。

注意

構成要素ラインを使用した構成要素の処理には、次の利点があります。

- 販売オーダー品目およびその構成要素の構造全体を把握できます。
- 個々の構成要素を出荷したり、直送できます。
- オーダリードタイム中に部品表の変更を処理できます。
- 完了した販売オーダーライン品目または剰余の請求書を作成できます。

構成要素ライン

構成要素ラインを使用して構成要素を処理するには、次のパラメータを指定します。

- 販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [拡張キット処理の導入] チェックボックスをオンにします。
- 販売オーダータイプ (tdsls0594m000) セッションまたは販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションの [構成要素処理] フィールドで [構成要素ライン] を指定します。

詳細は、次の情報を参照してください: 構成要素処理 - 構成要素ライン (ページ 8)

販売部品表

販売部品表を使用して構成要素を処理するには、次のいずれかを実行します。

- 販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [拡張キット処理の導入] チェックボックスをオフにします。このチェックボックスがオフの場合、構成要素は常に販売部品表を使用して処理されます。
- [拡張キット処理の導入] チェックボックスをオンにします。ただし、販売オーダータイプ (tdsls0594m000) セッションまたは販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションの [構成要素処理] フィールドで [販売部品表] を指定します。

詳細は、次の情報を参照してください: 構成要素処理 - 販売部品表 (ページ 11)

構成要素処理

構成要素処理 - 構成要素ライン

構成要素ラインを使用して構成要素を処理する場合、部品表の販売オーダーへのコピー (tdsls4812s000) セッションで部品表 (BOM) を販売オーダーのラインにコピーできます。構成要素用に販売オーダーラインをマニュアルで指定することもできます。下位レベルの構成要素がリンクされているファントム品目または構成要素品目が販売オーダーラインに含まれる場合、販売オーダーライン構成要素 (tdsls4163m000) セッションで構成要素ラインが生成されます。

構成要素ラインを表示するには、販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションの [オーダーライン - 部品表構成要素] をクリックします。販売オーダーライン - 構成要素 (tdsls4601m000) セッションが開始され、特定の販売オーダーラインにリンクされた構成要素ラインを表示、入力、およびメンテナンスできます。このセッションでは、構成要素ラインに適用されるすべての活動とアクションを実行できます。

注意

販売オーダー主品目 (tdsls4561m000) セッションでは、販売オーダーへの部品表 (BOM) のコピー処理で生成された販売オーダーラインの基になった主品目を表示できます。販売オーダー主品目 (tdsls4561m000) セッションを開始するには、販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションの適切なメニューから [販売オーダー主品目] を選択します。

納入

- 倉庫管理
販売オーダーライン構成要素が倉庫管理に発行されると、個々の構成要素で倉庫活動が実行されます。販売オーダーラインの [出荷規則] に基づいて、倉庫管理は (個々の) 構成要素を出荷した後、構成要素ラインを納入します。詳細は、次の情報を参照してください: 倉庫管理でのキット処理の概要 (ページ 17)
- 調達
販売オーダーラインまたは販売オーダーライン構成要素は、直送することもできます。構成要素に購買オーダーが生成された場合、各販売オーダー構成要素は購買オーダーラインにリンクされます。調達で個々の構成要素が入庫された後に、構成要素ラインが納入されます。生成された購買オーダーラインと販売オーダー構成要素ラインの間のリンクは、次のセッションで参照できます。
 - 購買オーダーライン - リンク情報 (tdpur4502s000)
 - 販売オーダーライン構成要素 (tdsls4163m000)

納入は、販売オーダーライン構成要素の実際納入 (tdsls4166m000) セッションで構成要素ごとに保存されます。完成した販売オーダーライン品目に納入済構成要素の数量が含まれている場合、販売オーダーラインについて請求できます。

構成要素バックオーダー

バックオーダーは、販売オーダーライン構成要素の実際納入 (tdsls4166m000) セッションで構成要素ラインのオーダー数量の一部の最終出荷が登録されると作成されます。

バックオーダーは、販売オーダーライン構成要素の見込バックオーダー (tdsls4164m000) セッションでマニュアルで確認するか、販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [構成要素バックオーダーの自動確認] チェックボックスがオンの場合は自動的に確認することができます。

バックオーダーが確認されると、販売オーダーライン構成要素 (tdsls4163m000) セッションの [バックオーダー] チェックボックスがオンになった状態で新しい構成要素ラインが生成されます。

返品

リンクされた構成要素と個々の構成要素がある完成した販売オーダーライン品目は、返品オーダーにより返品できます。

- 販売オーダーライン品目の完成
販売オーダータイプが返品オーダーである販売オーダーヘッダを作成し、[オリジナル伝票タイプ] フィールドと [オリジナル伝票番号] フィールドを指定したら、[オリジナル伝票からコピー] をクリックして実績データまたは履歴データから販売オーダーラインを選択します。選択した販売オーダーラインとリンクされたコンポーネント (履歴) ラインが、返品オーダーにコピーされます。すべての構成要素が倉庫管理または調達で最終的に入庫されるまで、販売オーダーラインは納入情報で更新されません。完成した販売オーダーライン品目の返品には剰余評価は行われず、販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [返品 of the Order Line Price] チェックボックスの設定に基づいて請求されます。
- 個々の構成要素
個々の構成要素を返品するには、[オリジナル伝票タイプ] の値に応じて次のセッションが開始され、現在のオーダーにコピーするオリジナル伝票のラインを選択できます。
 - [オーダー]
販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションで [オリジナル伝票番号] を選択し、販売オーダーヘッダの [オリジナル伝票からコピー] をクリックすると、履歴からコピーした場合は販売オーダー実際納入ライン履歴 (tdsls4556m000) セッションが開始されます。実績データからコピーした場合は、販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションが開始されます。どちらのセッションでも、構成要素ラインにズームすることができます。販売オーダーライン構成要素履歴 (tdsls4553m000) セッションまたはコピーする販売オーダーライン構成要素の選択 (tdsls4563m100) セッションから、販売オーダーラインとして返品オーダーにコピーする構成要素ラインを選択できます。
 - [出荷]
販売オーダー請求ライン (tdsls4106m100) セッションから [オリジナル伝票番号] を選択すると、コピーする販売オーダーライン構成要素の実際納入の選択 (tdsls4566m100) セッションでリンクされた出荷にズームできます。販売オーダーヘッダで [オリジナル伝票からコピー] をクリックし、コピーする販売オーダーライン構成要素の実際納入の選択 (tdsls4566m100) セッションで返品オーダーに販売オーダーラインとしてコピーする出荷を選択します。

注意

構成要素と主品目に負のオーダー数量をマニュアルで指定して商品を返品することもできます。部品表の販売オーダーへのコピー (tdsls4812s000) セッションで負の数量を指定すると、主品目の返品オーダーも作成できます。

返品オーダーとオリジナルオーダーの間のリンクは、次のセッションで表示できます。

- リンクオーダーラインデータ (tdsls4102s200)
- 販売オーダーライン構成要素 (tdsls4163m000)

剰余

キットの構成要素は別個に出荷できます。キットは、販売オーダーライン上の品目です。販売オーダーライン品目の 1 つまたは複数の単位を構成する上で十分な品目がいつ出荷されるかが判断され

ます。販売オーダーライン品目にとって十分な品目が出荷されるとすぐに、販売オーダーラインの請求書を作成できます。

構成要素が納入されたが、納入構成要素の数量が足りないために少なくとも 1 つの販売オーダーライン品目を完成できない場合、構成要素は剰余と呼ばれます。剰余情報は販売オーダーライン構成要素の余剰 (tdsls4567m000) セッションで表示でき、構成要素ごとに登録されて、オーダーライン品目について請求できるかどうかを判断するために使用されます。

詳細は、次の情報を参照してください: 剰余の処理 (ページ 14)

部品表の変更

部品表の変更は、オーダーリードタイム時に有効になります。たとえば、構成要素を追加、削除、および変更できます。

部品表の変更が、[フリー] または [処理中] の販売オーダーライン構成要素を持つ未決済販売オーダーに適用される場合、これらの変更を販売オーダー (構成要素) ラインを対象にして処理できます。これにより、期限切構成要素や必要な正味数量が少ない構成要素などが出荷されることがなくなります。

販売オーダーへの設計部品表の変更を処理するには、販売オーダーへの部品表変更の処理 (tdsls4263m000) セッションを使用します。

請求

完成した販売オーダーライン品目に納入構成要素の数量が含まれている場合、販売オーダー請求ライン (tdsls4106m100) セッションで請求ラインが作成され、販売オーダーラインが更新されます。完成した販売オーダーライン品目または剰余に最終請求書ラインが作成されると、販売オーダーラインの [実際納期] と [納入記録日] が更新されます。これらは、販売オーダー請求書ライン (tdsls4106m000) セッションで表示できます。

剰余数量について請求する必要がある場合、販売オーダーラインの納入数量 0 で請求ラインが作成されます。ラインのデフォルトの請求額は、販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [余剰ゼロ請求書] チェックボックスの値によって決まります。請求数量および価格は 0 です。請求ラインを請求に発行するには、まず販売請求書ラインの価格および値引の変更 (tdsls4132m000) セッションでこの剰余数量を確認する必要があります。

注意

- 1 つの販売オーダーラインに対して、複数の実際納入ライン/請求ラインが存在する可能性があります。このため、[実際納入ライン順序番号] は、[請求ライン] 番号と共に増加します。
- 請求ラインが挿入されるたびに、販売オーダーラインが [納入数量]、[納入済額]、および [ライン値引額] によって更新されます。
- 請求では、構成要素とその数量を販売請求書に出力するかどうかを指定できます。
- 組立部品の分割輸送品は、イントラスタット取引 (tccom7171m000) セッションで、構成要素の出荷が確認されたときに、処理がイントラスタット申告用に記録されます。これらのレコードの状況は [最終出荷待ち] になります。特定の販売オーダーラインのすべての構成要素の納入が実行され、合計請求額が明らかになったとき、この合計金額は、評価額と数量に基づきイントラスタット用に記録されたレコードに分配されます。イントラスタット用レコードのために計算された金額は、イントラスタット取引 (tccom7171m000) セッションの [申告請求価額] フィールドで表示できます。詳細は、次の情報を参照してください: 時差委託の評価額と請求額

構成要素処理 - 販売部品表

販売部品表を使用して構成要素を処理する場合、部品表の販売オーダーへのコピー (tdsls4812s000) セッションで部品表 (BOM) を販売オーダーラインにコピーできます。

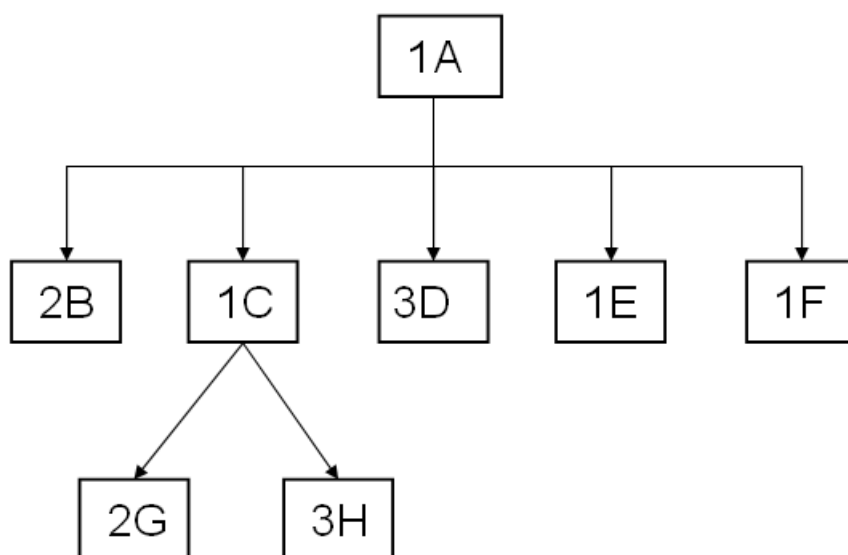
部品表をコピーするには:

1. 製造品目、オーダー数量、およびデフォルト部品表レベルを指定し、処理を開始します。
2. 下位の構成要素が含まれていない部品表内の各位置に、販売オーダーラインが追加されます。
3. 構成要素の発効日と有効期限との間にオーダー日付がある部品表構成要素のみがコピーされます。品目バージョンも考慮されます。

注意

- 販売オーダーラインの部品表構成要素は、販売オーダー部品表 (tdsls4532m000) セッションで表示できます。
- (ファントム) 品目の構成要素は、別個に出荷または納入することができません。

次の図に部品表を示します。



品目 A の 4 単位について部品表をコピーする場合、次の 6 つの販売オーダーラインがオーダーに追加されます。

- 品目 B が 8 単位のオーダーライン 1 件
- 品目 G が 8 単位のオーダーライン 1 件
- 品目 H が 12 単位のオーダーライン 1 件
- 品目 D が 12 単位のオーダーライン 1 件
- 品目 E が 4 単位のオーダーライン 1 件
- 品目 F が 4 単位のオーダーライン 1 件

オーダーラインは、コピーした後でも修正できます。価格と値引は自動的に決定されます。

部品表をオーダーラインにコピーする代わりに、主品目 A を 4 個オーダーするオーダーラインを 1 つ作成する方法もあります。在庫から出庫する場合、構成要素 (B、C、D、E、F) が引き当てられて出庫されます。この方法の欠点は、部品表データとの偏差が許されないことです。

ファントムレベルのスキップ

部品表 (BOM) 構成要素を販売オーダー、販売見積、または購買オーダーにコピーした場合、ファントムをどのようにコピーする必要があるかを指定できます。

これらのパラメータにより、ファントムを使用する際に要約される部品表 (BOM) レベルのデフォルト番号が決まります。

- 販売パラメータ (tdsls0100s000) セッションの [スキップするファントム品目レベル]
- 購買パラメータ (tdpur0100m000) セッションの [デフォルト部品表レベル]

さきほどのパラメータにより、次のセッションの同じフィールドにデフォルト値が設定されます。

- 部品表構成要素の販売見積へのコピー (tdsls1812s000)
- 部品表構成要素のオーダーへのコピー (tdpur4812s000)
- 部品表の販売オーダーへのコピー (tdsls4812s000) (販売オーダータイプ (tdsls0594m000) セッションで [構成要素処理] フィールドが [販売部品表] である場合)

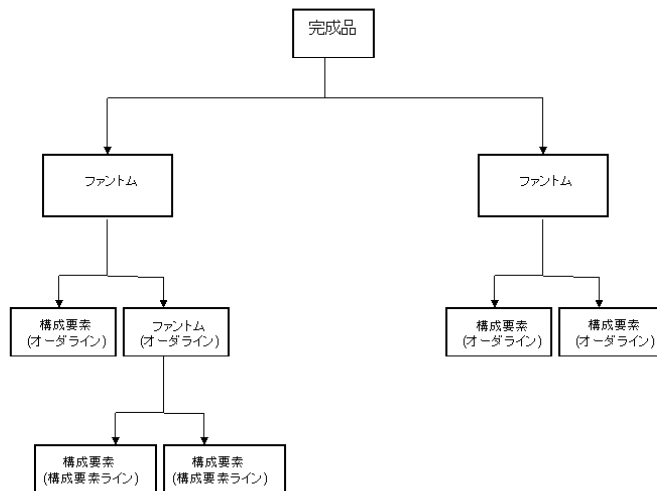
これらのセッションの [スキップするファントム品目レベル] 値により、部品表 (BOM) が販売オーダー、販売見積、または販売オーダーにコピーされる方法が決まります。

重要

このオーダータイプで [構成要素処理] が [構成要素ライン] になっている場合、[スキップするファントム品目レベル] フィールドは 1 になり、部品表の販売オーダーへのコピー (tdsls4812s000) セッションで使用できません。

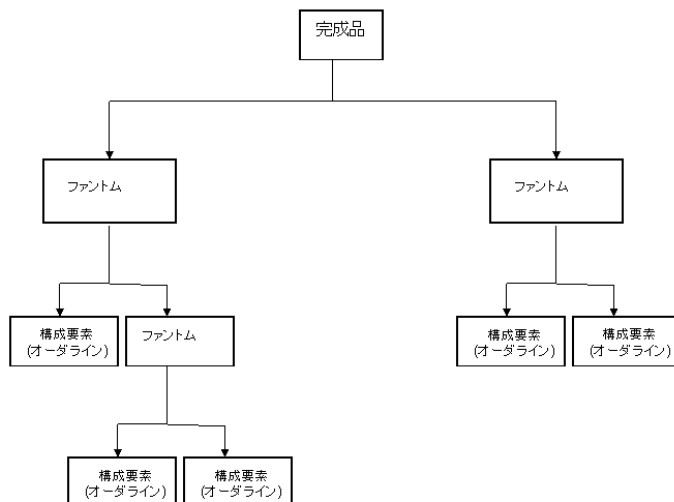
例: スキップするファントムレベル = 1

この例では、4 つのオーダーラインと 2 つの構成要素ラインが生成されます。ファントムだけが含まれる 1 番目の部品表レベルがスキップされます。2 番目のレベルのファントムについて、オーダーラインが生成されます。



例: スキップするファントムレベル = 2

この例では、5つのオーダーラインが生成されます。1番目および2番目の部品表レベル BOM がスキップされます。



この例は、販売オーダータイプ (tdsls0594m000) セッションで [構成要素処理] が [販売部品表] になっている販売オーダータイプにのみ該当します。

構成要素の表示

構成要素は、次のセッションで表示できます。

- 購買オーダー
購買オーダー計画済資材 (tdpur4532m000)
- 販売見積
販売見積部品表 (tdsls1532s000)
- 販売オーダー
[構成要素処理] が [販売部品表] になっている場合、構成要素は販売オーダー部品表 (tdsls4532m000) セッションで表示できます。
- [構成要素処理] が [構成要素ライン] になっている場合、構成要素は販売オーダーライン - 構成要素 (tdsls4601m000) セッションで表示できます。

注意

[構成要素処理] が [構成要素ライン] になっている場合 (最初の例では 3 番目のレベルにも 4 番目のレベルの構成要素を持つファントムが含まれている可能性がある)、3 番目のレベルのファントムと 4 番目のレベルの構成要素は販売オーダーライン - 構成要素 (tdsls4601m000) セッションに書き込まれます。このため、これらのファントムは単一の構成要素として処理されます。

剰余の処理

構成要素が納入されたが、納入構成要素の数量が足りないために少なくとも 1 つの販売オーダーライン品目を完成できない場合、構成要素は剰余と呼ばれます。

剰余情報は販売オーダーライン構成要素の余剰 (tdsls4567m000) セッションで表示でき、構成要素ごとに登録されて、オーダーライン品目について請求できるかどうかを判断するために使用されます。

剰余は、次の作業を行うと更新されます。

- 新しい出荷の納入
- 販売オーダーライン - 構成要素 (tdsls4601m000) セッションの適切なメニューの [変更の提出] をクリックすることで、構成要素ラインをマニュアルで変更して変更を処理する
- 販売オーダーへの部品表変更の処理 (tdsls4263m000) セッションを使用することで、部品表を変更して変更を処理する

注意

- オーダラインに剰余が存在する場合、遅延構成要素 (tdsls4567m100) セッションを使用して、完成した販売オーダーライン品目の請求を遅らせている構成要素を表示できます。
- オーダラインの終了や部品表の変更などにより剰余が廃止になった場合、販売請求書ラインの価格および値引の変更 (tdsls4132m000) セッションで剰余の数量を請求できます。

販売オーダー単位と丸め係数

販売オーダーライン品目の 1 単位は、品目の販売オーダー計測単位に従って定義され、販売オーダー単位の丸め係数に従って丸められます。

たとえば、販売オーダー単位が KG (キログラム)、丸め係数が 0.1 kg であり、0.69 KG の販売オーダーライン品目であれば十分であるとして納入数量が計算される場合、数量 0.6 KG が完成と見なされます。

剰余の評価

剰余評価は、完成していて請求可能な販売オーダーライン品目の単位数を計算する処理です。

出荷の納入

構成要素品目の出荷が倉庫管理で記録されると、剰余評価が実行され、完成したすべての販売オーダーライン品目の請求ラインが作成されます。

販売オーダー/スケジュールの請求への発行 (tdsls4247m000) 活動は、該当する販売オーダータイプで次のように行われます。

- 自動。出荷ラインは即時に評価されます。完成した販売オーダーライン品目ごとに、別個の請求ラインになることがあります。
- 非自動。販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションで [請求への発行] コマンドをクリックすると、複数の出荷ラインが 1 つの請求ラインに結合されます。

活動は、販売オーダータイプ (tdsls0594m000) 詳細セッションの [自動] チェックボックスがオンになっていると、自動的に実行されます。

構成要素ラインの変更

販売オーダーライン構成要素 (tdsls4163m000) セッションで、構成要素ライン正味数量の変更、または構成要素ラインの終了または削除を行った場合、[修正済] チェックボックスがオンになります。変更を適用すると、剰余評価が実行されます。

これらの変更を適用するには、販売オーダーライン - 構成要素 (tdsls4601m000) セッションの [変更の提出] をクリックします。

部品表の変更

販売オーダーライン品目の部品表 (BOM) を変更し、この変更を処理すると、剰余評価が実行されます。

剰余数量の請求

販売オーダーライン構成要素をマニュアルで変更する場合や、部品表を変更する場合は、出荷した構成要素を、完成した販売オーダーライン品目を構成するために使用できなくなる場合があります。部分納入と端数修正を行っても、販売オーダーライン品目を完成させるために構成要素を使用できなくなる可能性があります。

これらの構成要素の納入は、販売オーダーラインで納入数量が 0 の剰余として請求されます。

販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [余剰ゼロ請求書] チェックボックスにより、
剰余数量の請求方法が決まります。

倉庫管理でのキット処理の概要

キット処理機能:

- 未完了の部品表 (BOM) または キット の概要。これはたとえば、在庫不足でオーダ済構成要素の部品が使用できないときに、顧客が使用可能な部品の通知を必要とする場合に役立ちます。
在庫からの納入や、直送での納入が最も早い場合には、後からこの通知を送信できます。販売オーダラインでは、在庫からの納入を直送に変えることができます。出荷規則を使用して分納を管理できます。詳細は、次の情報を参照してください: キット処理のサポートと出荷構造の設定 (ページ 18)
未完了キットまたは BOM の納入を可能にするには、販売オーダと関連する倉庫オーダの構造を調整します。詳細は、次の情報を参照してください: 販売および倉庫オーダ構造 (ページ 20)
- BOM またはキット構造を販売オーダに反映した後でのこれらの修正。変更可能な最終段階は、出荷確認時です。詳細は、次の情報を参照してください: 販売オーダへの部品表変更の処理 (tdsls4263m000) および構成要素ラインの変更が与える出庫オーダラインおよび出荷ラインへの影響 (ページ 29)
- 販売オーダでのオーダ済数量の変更、または納入処理後の取消オーダ。詳細は、次の情報を参照してください: 構成要素ラインの変更が与える出庫オーダラインおよび出荷ラインへの影響 (ページ 29)
- 柔軟な出荷構造の設定。倉庫オーダタイプでは、積荷と出荷を構成して、サブキットで構成要素を出荷するように指定できます。グラフィカルユーザインタフェースを使用すると、LN で生成された出荷構造をマニュアルで調整することもできます。また、必要なパラメータを設定する場合には、オプションで出荷コンテナを使用できます。詳細は、次の情報を参照してください: 販売および倉庫オーダ構造 (ページ 20) および出荷構造 (ページ 22)
積荷と出荷構造を管理する倉庫オーダタイプの設定およびパラメータ設定では、販売管理モジュールで開始された出荷コンテナサポートキット処理を使用することができます。ただし、これは必須ではありません。使用しない場合には、販売管理モジュールで開始された メインキット - サブキット - 構成要素の構造を出荷構造で適切に反映することができます。
この設定は、キット処理が販売管理モジュールに導入されていない場合でも利用可能です。

納入後の請求を含む、キットオーダの納入手順の概要については、コンポーネント品目を納入するには - 手順 (ページ 19) を参照してください。

キット処理のサポートと出荷構造の設定

ほとんどのキット処理機能は、販売に導入されています。詳細は、次の情報を参照してください: 販売におけるキット処理の概要 (ページ 7) この機能が販売に導入されると、出庫オーダ構造は、倉庫管理で調整されます。詳細は、次の情報を参照してください: 販売および倉庫オーダ構造 (ページ 20) 次の倉庫管理の機能ではキット処理がサポートされますが、ステップ 1 および 2 の説明のとおりキット処理を導入しない場合でも使用することができます。

1. 販売オーダパラメータ (tdsls0100s400) セッションで [拡張キット処理の導入] チェックボックスをオンにします。
2. 販売オーダタイプ (tdsls0594m000) 詳細セッションで、[構成要素処理] フィールドの [構成要素ライン] を選択します。対応する販売オーダラインで、[構成要素処理] フィールドのデフォルトに [構成要素ライン] が設定されます。
倉庫管理に発行済の [構成要素ライン] の値を持つ各販売オーダラインに、倉庫オーダセット が生成されます。これにより、出荷の完了および未完了 サブキット の使用が容易になります。
詳細は、次の情報を参照してください:
 - 販売および倉庫オーダ構造 (ページ 20)
 - 販売におけるキット処理の概要 (ページ 7)
3. 必要に応じて、販売オーダタイプ (tdsls0594m000) 詳細セッションでは、適切な 倉庫手順 を使用するために、販売オーダタイプを対応する倉庫オーダタイプにリンクできます。
4. 必要に応じて、発生元別デフォルトオーダタイプ (whinh0120m000) セッションでは、倉庫オーダタイプが販売オーダから生成される倉庫オーダのデフォルトのオーダタイプになるように、適切な倉庫オーダタイプを発生元 [販売] へリンクできます。
5. 必要時に個別の販売オーダまたは販売オーダラインへ完了サブキットの出荷を強制するには
 - 販売オーダ (tdsls4100m000) または販売オーダライン (tdsls4101m000) セッションの [出荷規則] フィールドで、[キットを完全に出荷] を選択します。
 - 在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションで [勧告発行中に出荷規則をチェック] チェックボックスをオンにします。詳細は、次の情報を参照してください: [キットを完全に出荷] 制約 (ページ 26)
6. 必要に応じて、在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションで、[使用中の出荷コンテナ] チェックボックスを選択して 出荷コンテナ を使用可能にします。詳細は、次の情報を参照してください: 出荷コンテナを構成するには
7. 必要に応じて、倉庫オーダタイプ (whinh0110m000) セッションで、次のいずれかのチェックボックスをオンにして、サブキットの納入に関連付けられたオーダタイプの出荷構造を指定します。
 - [出荷ごとに 1 オーダセット]
 - [積荷ごとに 1 オーダ]
 - [出荷ごとに 1 オーダ]

詳細は、次の情報を参照してください: 出荷構造 (ページ 22)

8. 手順別活動 (whinh0106m000) セッションで、出荷積荷目録の出力 (whinh4478m000) の活動を選択して出荷積荷目録がサブキットに関連付けられている出荷手順を出力可能にします。
9. ユーザ別デフォルトデバイス (whwmd1545m000) セッションで、出荷積荷目録の出力 (whinh4478m000) の活動のデフォルトデバイスを選択します。
10. 必要に応じて、ユーザプロファイル (whwmd1140s000) セッションで、出荷勧告とピッキングリストに [オーダーセット別] オプションを選択し、デフォルトでオーダーセットごとに新しいページへ出力されるようにします。

コンポーネント品目を納入するには - 手順

この手順の例では、各ステップをマニュアルで行います。

1. 販売オーダー (tdsls4100m000) セッションには、キット処理が有効化されているオーダータイプの販売オーダーを入力します。詳細は、次の情報を参照してください: 販売におけるキット処理の概要 (ページ 7)
2. メインキット品目を入力します。詳細は、次の情報を参照してください: 販売オーダー手順
3. 販売オーダー - ライン (tdsls4100m900) セッションで、メインキット品目のサブキット品目を入力します。
4. 販売オーダーライン - 構成要素 (tdsls4601m000) セッションで、サブキットごとに、対応する構成要素を入力します。詳細は、次の情報を参照してください: 構成要素処理 - 構成要素ライン (ページ 8)
5. 倉庫管理に発行して、倉庫オーダーセットと出庫オーダーラインを作成します。詳細は、次の情報を参照してください: 販売および倉庫オーダー構造 (ページ 20)
6. 倉庫管理で出庫勧告を作成します。詳細は、次の情報を参照してください: 出庫手順
次の設定を指定する場合には出庫勧告を操作します。
 - 出荷規則 [キットを完全に出荷]。詳細は、次の情報を参照してください: [キットを完全に出荷] 制約 (ページ 26)
 - 次のいずれかの倉庫オーダータイプ設定:
 - [出荷ごとに 1 オーダーセット]
 - [積荷ごとに 1 オーダー]
 - [出荷ごとに 1 オーダー]
 詳細は、次の情報を参照してください: 出荷構造 (ページ 22)
7. 出庫勧告を発行します。
結果として、LN 出荷ライン、出荷、および積荷が生成されます。詳細は、次の情報を参照してください: 出庫手順
8. 必要に応じて、出荷構造を構成します。オプションで、出荷コンテナの追加、出荷、出荷ライン、扱い単位、または積荷の移動または追加を行います。
詳細については、次の情報を参照してください。
 - 出荷と積荷
 - 出荷構造 (ページ 22)
 - 出荷構成の条件

- マニュアルで作成された出荷
 - 扱い単位
9. 出荷を凍結します。詳細は、次の情報を参照してください: 出荷と積荷の状況
 10. 出荷伝票を出力します。詳細は、次の情報を参照してください: 出荷手順および出荷と積荷の状況
 11. 出荷を確認します。販売オーダーライン - 構成要素 (tdsls4601m000) および販売オーダーライン (tdsls4100m900) セッションの構成要素ラインが更新され、請求書ラインが作成されます。詳細は、次の情報を参照してください: 販売オーダー手順
 12. 販売オーダーの請求を行います。

注意

販売管理モジュールの構成要素ラインに変更を加えると、それに対応する倉庫出庫オーダーラインと出荷ラインに影響が及びます。詳細は、次の情報を参照してください: 構成要素ラインの変更が与える出庫オーダーラインおよび出荷ラインへの影響 (ページ 29)

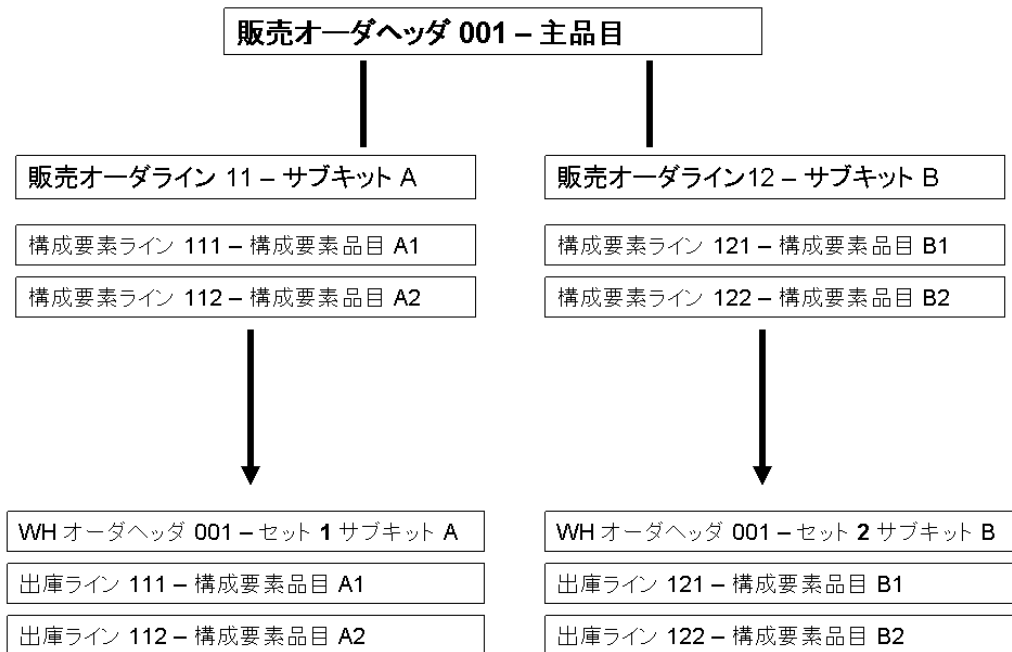
販売および倉庫オーダー構造

未完了の部品表 (BOM) または キット の納入を可能にするには、販売オーダーと関連する倉庫オーダーの構造を調整します。

販売オーダータイプにキット処理が指定されている場合、販売オーダーヘッダがキットのトップレベルを表し、各販売オーダーラインがサブキットレベルを表します。サブキットの構成要素は販売オーダーライン構成要素 (tdsls4163m000) セッションに一覧表示されます。

販売オーダーが倉庫管理へ発行されるとき、次の項目が生成されます。

- 各販売オーダーラインの倉庫オーダーセット。販売オーダーラインのサブキット品目は、倉庫オーダーヘッダの [キット品目] フィールドに挿入されます。
- 販売オーダーライン構成要素 (tdsls4163m000) セッションからの各構成要素ラインに対する出庫オーダーライン。



倉庫オーダーヘッダには次の項目が一覧表示されます。

- [オーダー] フィールドに倉庫オーダー番号
- [オーダーセット] フィールドに倉庫オーダーセット番号
- [キットのオーダー] チェックボックス。オンの場合には、倉庫オーダーがキットオーダーであることを示します。
- [キット品目] フィールド。サブキット品目の ID を表示します。このフィールドの値は、倉庫オーダーセットを開始した販売オーダーラインから取得されます。
- [数量 (保管単位)] フィールド。現在のオーダーセットのサブキット品目に数量を表示します。この値は、販売オーダーラインから取得されます。

[品目] フィールドでは、各出庫オーダーラインに、倉庫オーダーセットヘッダに表示されたサブキットに含まれる構成要素品目の ID が一覧表示されます。[棚卸単位のオーダー数量] フィールドには、オーダー済構成要素の数量が一覧表示されます。たとえば、オーダーヘッダセットにサブキット A が 5 個表示され、部品表 (BOM) ではサブキット A が 20 個の構成要素 A1 からなる場合、構成要素 A1 の出庫オーダーラインには数量が 100 と表示されます。

出荷構造

単一オーダー設定

出荷構成の条件および出荷と積荷に示された標準要件と次の倉庫オーダータイプ設定によって、積荷を作成する場合の出荷ライン、出荷、および出荷コンテナ (導入済の場合) の構築方法が決まります。

- [出荷ごとに 1 オーダセット]
- [積荷ごとに 1 オーダ]
- [出荷ごとに 1 オーダ]

出荷ラインの作成

出荷ラインを倉庫オーダーに対して作成するときに、[出荷ごとに 1 オーダセット] または [出荷ごとに 1 オーダ] を倉庫オーダーのオーダータイプに選択する場合には、出荷が同じ倉庫オーダー ([出荷ごとに 1 オーダ] を選択した場合) またはオーダーセット ([出荷ごとに 1 オーダセット] を選択した場合) にリンクされていると、出荷ラインは既存の出荷にリンクされます。該当する出荷が存在しない場合には、新しい出荷が作成されます。[積荷ごとに 1 オーダ] を選択した場合、一致する積荷が存在しない場合には新しい積荷が作成されます。

出荷ラインは、出庫手順の間に生成されるか、マニュアルで作成します。詳細は、次の情報を参照してください: 出庫手順およびマニュアルで作成された出荷

出荷ラインの移動

出荷ラインが、[出荷ごとに 1 オーダ] または [出荷ごとに 1 オーダセット] のオーダータイプに設定された倉庫オーダーを参照している場合、出荷ラインを移動できる出荷は、同じ倉庫オーダーまたはオーダーセットを参照しているもののみです。また、出荷ラインの出荷と、移送先の積荷および出荷コンテナが同じ倉庫オーダーに含まれている場合は、その出荷ラインを出荷コンテナと積荷に移動することができます。

出荷ラインは、[出荷構造の構成] グラフィカルユーザインターフェイスまたは出荷の構成 (whinh4231m000) セッションで移動することができます。

出荷の移動

倉庫オーダーに作成されたオーダータイプの設定が [積荷ごとに 1 オーダ] の積荷に出荷を移動するには、その出荷が同じ倉庫オーダーに含まれている必要があります。

出荷の移動は、[出荷構造の構成] グラフィカルユーザインターフェイスまたは積荷の構成 (whinh4134m000) セッションで行うことができます。

出荷コンテナを構成するには

出荷を同じ積荷内の特定の出荷コンテナから次の出荷コンテナに移動できるのは、出荷と出荷コンテナの状況が [オープン] の場合です。

出荷積荷目録を出力した出荷を他の出荷コンテナに移動する場合、移動後に新しい出荷積荷目録を出力する必要があります。出荷積荷目録を出力した出荷コンテナに出荷を追加する場合、出荷積荷目録を再度出力する必要があります。

扱い単位が指定された出荷を扱い単位が指定された出荷コンテナに移動する場合、その出荷の扱い単位は、もとのコンテナの扱い単位とリンクが解除され、移動先の出荷コンテナの扱い単位とリンクされます。さらに、出荷コンテナの総重量と正味重量が再計算されます。出荷コンテナは、[出荷コンテナの構成] グラフィカルユーザインターフェイスを使用して構成することができます。

出荷構造の構成 - コンテナ処理

ここでは、該当する場合にコンテナをマニュアルで作成する必要があるかどうか、また LN で最初のコンテナが自動的に作成されるかどうかについて説明します。次の [コンテナ処理] オプションが用意されています。

- [マニュアル]
- [自動]
- [適用なし]

出荷コンテナは、輸送用に出荷を梱包する手段です。1つの積荷に複数のコンテナをリンクできません。また、1つの出荷コンテナに複数の出荷 (出荷先コードが異なる) をリンクできます。

[マニュアル]

出荷コンテナの作成と出荷コンテナへの出荷の割当は完全なマニュアル処理です。LN で出荷構造が構成されると、デフォルトですべての出荷が [出荷構造の構成] グラフィカルブラウザフレームワーク (GBF) の [コンテナなし] ノードに追加されます。出荷コンテナをマニュアルで作成した後、出荷を [コンテナなし] から新規に作成した出荷コンテナに移動させる必要があります。

注意

[マニュアル] オプションは、次の [在庫処理タイプ] には適用されません。

- [入庫]
- [仕掛品振替]

[自動]

[自動] オプションを指定すると、LN で最初の出荷コンテナが作成され、この出荷コンテナに出荷が自動的に割り当てられます。LN では、積荷/出荷の構築時に出荷コンテナが自動的に作成され、このコンテナが積荷/出荷にリンクされます。

注意

[自動] オプションは、次の [在庫処理タイプ] には適用されません。

- [入庫]
- [仕掛品振替]

[適用なし]

[適用なし] オプションを指定すると、出荷コンテナの概念が使用されません。このため、LN で出荷コンテナが作成されません。オプションが [適用なし] の場合は、マニュアルでも出荷コンテナを作成できません。

注意

[適用なし] オプションは、次の [在庫処理タイプ] には適用されません。

- [出庫]
- [転送]

(自動) コンテナへの出荷のリンク

例

次の各シナリオでは、出荷コンテナに出荷をリンクさせる方法と使用可能なコンテナがない場合に出荷コンテナを作成する方法を示します。

- シナリオ 1: 積荷、状況 = 「オープン」
状況が「オープン」のコンテナの数 = 1: このコンテナに新規の出荷をリンクさせる必要があります。

例

- コンテナ 1、状況 = 「確認済」
- コンテナ 2、状況 = 「確認済」
- コンテナ 3、状況 = 「凍結済」
- コンテナ 4、状況 = 「オープン」

この場合は、状況が「オープン」のコンテナに新規の出荷がリンクされます。

- シナリオ 2: 積荷、状況 = 「オープン」
状況が「オープン」のコンテナの数 = 2: 「コンテナなし」ノードに新規の出荷をリンクさせる必要があります。

例:

- コンテナ 1、状況 = 「確認済」
- コンテナ 2、状況 = 「確認済」
- コンテナ 3、状況 = 「オープン」
- コンテナ 4、状況 = 「オープン」

この場合は、どのコンテナを使用する必要があるかをユーザが判断できるように、「コンテナなし」ノードに新規の出荷がリンクされます。

- シナリオ 3: 積荷、状況 = 「オープン」
状況が「オープン」のコンテナの数 = 0
この場合は、新規のコンテナが作成され、新規のコンテナに新規の出荷がリンクされます。
- シナリオ 4: 積荷、状況 = 凍結済/確認済
この場合は、新規の積荷と新規のコンテナが作成され、新規のコンテナに新規の出荷がリンクされます。

出荷規則

LN では、倉庫オーダーヘッダと出庫オーダーライン上に出荷規則が記録されます。マニュアル倉庫オーダーのヘッダレベルで出荷規則が定義されている場合は、その出荷規則がすべての出庫オーダーラインにデフォルト設定されます。発生元が販売オーダーまたは販売スケジュールの倉庫オーダーでは、販売から出荷規則が取得されます。それ以外のすべての非マニュアルの発生元では、出荷規則がデフォルトで [なし] に設定されます。つまり、出荷規則を倉庫オーダー上にマニュアルで指定することができます。

出荷規則 - 倉庫オーダー

次の出荷規則を倉庫オーダーヘッダ上に指定できます。

- [なし]
出荷規則が適用されません。LN で有効在庫に基づいてオーダーが処理されます。十分な在庫がある場合は、完全な出荷が生成されます。十分な在庫がない場合は、次の状況が考えられます。
 - 販売契約パラメータ (tdsls0100s300) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスがオンになっていると、部分的な出荷の場合にバックオーダーが自動的に作成されません。この状況では、LN で出荷数量が販売スケジュールに戻され、ユーザは出荷数量の不足分をどのように処理するかを出荷詳細に基づいて決定します。出庫オーダーライン (whinh2120m000) セッションの [バックオーダーの作成] チェックボックスがオフになります。
この処理は、[スケジュールに契約を使用] チェックボックスがオンになった後で作成された販売スケジュールにのみ適用されます。
 - 契約が販売スケジュールに使用されていないと、部分的な出荷の場合に LN で自動的にバックオーダーが作成されます。出庫オーダーライン (whinh2120m000) セッションの [バックオーダーの作成] チェックボックスがオンになります。
- [出荷オーダー完了]
オーダー全体を単一出荷で出荷する必要があります。このため、LN では、部分的な納入が許可されていません。在庫が不足していると、出荷が延期になります。
- [出荷セット完了]
倉庫オーダーセットは、倉庫オーダーヘッダ上に記録されている販売オーダーセットに基づいています。1 つの販売オーダーセットに複数の倉庫オーダーセットが属している場合があります。発生元が販売の場合、この規則は、販売オーダーセット全体を一度に出荷する必要があることを意味しています。つまり、関連した倉庫オーダーセットをすべて出荷する必要があります。
- [キットの出荷完了]
この出荷規則はキットオーダーにしか適用できないため、キット全体を出荷する必要があります。オーダー数量よりも少ない数の品目を出荷できますが、これは関連したキット構造にすべての構成要素が揃っている場合に限りです。LN では、1 つの主品目/キットで構成された (1 つのセットとして出荷する必要のある) 構成要素ラインに固有のセット番号が割り当てられます。

注記

- 出荷規則 [キットの出荷完了] は、次の項目には適用されません。

- マニュアルで作成された倉庫オーダー
- 発生元が販売オーダーと販売スケジュール以外である非マニュアルの倉庫オーダー

出荷規則 - 出庫オーダーライン

次の出荷規則を出庫オーダーライン上に指定できます。

- [なし]
出荷規則が適用されません。
- [出荷ライン完了]
該当するラインの合計数量を 1 つの単一出荷として出荷する必要があります。
- [出荷ラインおよび取消]
十分な在庫がある場合は、そのラインの完全な出荷が生成されます。在庫が不足している場合、バックオーダーは作成されませんが、残存数量のオーダーが取り消されます。事前定義された取消理由が該当するオーダーラインにリンクされます。

キットを完全に出荷制約

キット処理では、未完了のサブキットを出荷できます。一方、個々の販売オーダーまたは販売オーダーラインについて、[キットを完全に出荷] 制約を使用して、完全なメインキットまたはサブキットの出荷を強制することができます。販売オーダーまたは販売オーダーラインを充足するだけの十分な在庫がない場合には、完了メインキットまたはサブキットを構成する在庫のみが勧告されます。

例

販売オーダーラインに 4 個のサブキット A が表示され、[キットを完全に出荷] の制約が販売オーダーラインに指定されています。

サブキット A は、次の構成要素からなります。

構成要素	数量	棚卸単位
C1	3	PCS
C2	4	PCS
C3	6	PCS

サブキット A に使用できる在庫は次のとおりです。

構成要素	数量	棚卸単位
C1	15	PCS
C2	18	PCS
C3	20	PCS

サブキット A の販売オーダーラインは、1 つのオーダーセット内で 3 つの出庫オーダーラインになります。出庫オーダーラインのオーダー数量は次のようになります。

OOL	構成要素	サブキット 数量	BOM 数量	構成要素数 量	棚卸単位
001	C1:	4	3	12	PCS
002	C2:	4	4	16	PCS
003	C3	4	6	24	PCS

凡例

OOL	出庫オーダーライン
サブキット数量	サブキットのオーダー数量
BOM 数量	サブキット当たりの構成要素数量
構成要素数量	コンポーネント当たりのオーダー数量 (サブキット数量 × BOM 数量)

利用可能在庫は、構成要素 C3 に対して不足しています。このため、LN は、4 つのサブキット A ではなく 3 つのみを勧告します。最終のサブキットに対して、バックオーダーが生成されます。出庫勧告生成後の勧告済数量は次のようになります。

-	C1 の勧告: $3 \times 3 = 9$ 個
-	C2 の勧告: $3 \times 4 = 12$ 個
-	C3 の勧告: $3 \times 6 = 18$ 個

構成要素	サブキット	構成要素数量	棚卸単位
C1:	3	9	PCS
C2:	3	12	PCS
C3	3	18	PCS

オーダを充足するための在庫が不足している場合には、出庫オーダラインごとに在庫不足のメッセージが表示されます。

注意

- [キットを完全に出荷] 制約は、生成された出庫勧告のみに機能します。出庫勧告が、マニュアルで生成された場合や、出庫勧告の生成後にマニュアルで変更または削除された場合には、この出庫勧告に対してキットの出荷完了チェックは実行されず、出荷確認まで延期されます。
このため、出庫手順の処理の間に完了キットを納入する必要がなくなった場合は、キットの出荷完了制約を省略するために、対応する出荷が確認される前に (未完了キットも勧告するように) 出庫勧告を再生成して、販売オーダラインからキットの出荷完了制約を削除します。
- マイナス在庫が許されている場合は、生成された出庫勧告やマニュアルで作成された出庫勧告への、LN によるキットの出荷完了チェックは実行されません。

LN での勧告される数量の計算方法

1. 倉庫オーダ (whinh2100m000) セッションの [数量 (保管単位)] フィールドにおけるオーダ済サブキットの数量については、サブキットの各構成要素に対して要求数量が計算されます。
2. 各構成要素について、使用可能数量の計算に次の項目が考慮されます。
 - 在庫約定
 - 引当バッファ
 - 在庫バッファ
 - 所有権
 - 仕様
 - マイナス在庫

3. 構成要素ごとに、不足が確認されます。不足が存在する場合には、使用可能在庫と一致する完了サブキットの最大数が勧告されます。

構成要素ラインの変更が与える出庫オーダーラインおよび出荷ラインへの影響

出荷勧告がまだ存在しない場合は、販売オーダーラインや構成要素ラインの変更により、倉庫の出庫オーダーラインが自動的に更新されます。変更には次のようなものがあります。

- 品目の数量の変更
- BOM 構造の変更:
 - 新規販売オーダーラインと構成要素ライン (新しいサブキットが BOM に追加された場合)。これにより新規倉庫オーダーセットと出庫オーダーラインが作成されます。
 - 新規構成要素ライン (構成要素が BOM のサブキットに追加された場合)。これにより新規出庫オーダーラインが作成されます。
- 構成要素または販売オーダーラインの取消し。これにより、対応する出庫オーダーラインが自動的に削除されます。

出庫勧告またはピッキングリストがある場合は、構成要素ラインに次の変更を加えることができます。

- 対応する出庫勧告またはピッキングリストをマニュアルで削除した後の変更または削除
- 取消し。自動的に出庫勧告またはピッキングリストが削除されます。

出荷ラインが存在する場合に、構成要素ラインの取消し、削除、または変更を行うには、出荷ラインを次のように操作します。

1. 出荷数量を 0 に設定します。
2. 確認を行います。
3. 在庫移動 (whinr1250m000) セッションや在庫移動 (範囲) (whinr1252m000) セッションは、未出荷の商品を発送確定保管場所から保管場所へ移動するために使用します。

構成要素

キットの一部として他の品目と組み合わせて請求される販売品目

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

発効日

そのレコードまたは設定が有効となる最初の日。通常、発効日には発効時刻も指定されます。

所有権

商品の所有権が発注先から顧客に変更されるかどうか、およびサプライチェーンでのその時期を示します。所有権変更は、組織内の部署や事業単位間でも生じます。これは、内部所有と呼ばれます。所有権の変更時、支払が必要になります。

従来の非 VMI のシナリオでは、顧客が発注先から品目を受け取ると品目の所有権が発注先から顧客に変更されます。顧客は商品の入庫時に品目の支払を行う必要があります。

さまざまな外注シナリオでは、所有権は入庫、または出庫倉庫処理中に変更されません。これらの場合、所有権は顧客所有になります。

販売業者管理在庫 (VMI) シナリオの場合、所有権は委託できます。所有権が委託される場合、所有権変更は時間ベース、または消費ベースになります。

- 消費ベース
顧客が商品を販売のために、または消費のために出庫したとき
- 時間ベース
次の後、しばらくしてからになります。
 - 顧客が商品を受け取る
 - 商品の最終出庫、または入庫

時間ベースの所有権変更の場合、期間は顧客と発注先の契約で規定されます。

活動

購買/販売オーダータイプについて実行しなくてはならない手順。活動は、購買/販売オーダータイプについて実行しなくてはならないセッションまたはマニュアルアクションを意味します。

活動

倉庫手順の 1 つのステップ。活動は、倉庫管理パッケージのセッションに対応しています。たとえば、入庫活動の入庫勧告作成は入庫勧告作成 (whinh3201m000) セッションを使用して実行します。

仕様

たとえば品目が割り当てられている取引先や所有権の詳細など、品目関連データの集まり

仕様を使用して、供給と需要を突き合せます。

仕様は、次の 1 つまたは複数に属することができます。

- 販売オーダーや製造オーダーなど、品目の数量に対する供給予定
- 扱い単位に収容される品目の特定の数量
- 販売オーダーなど、品目の特定の数量に対する要件

販売オーダーライン

販売オーダーは、特定の条件にしたがって顧客に納入される品目を含みます。販売オーダーのラインは、オーダーされる品目、および関連する価格合意や納期の記録に使用されます。

引当バッファ

仕様に引き当てられている在庫。この在庫は特定のオーダーには引き当てられていませんが、引当バッファの仕様と特徴が一致する仕様を持つ任意のオーダーラインで消費できます。

ファントム

製造品目の一部として生産される組立部品であり、それぞれ固有の工順が設定されていることがあります。

ファントムは、場合によってはいくつかの在庫が存在することもあります。通常は在庫が保有されることはありません。計画システムは、ファントムの資材所要量を作成しませんが、資材の所要量をファントム品目から直ちにその構成要素に移動します。ファントムは主に、モジュール化された製品構造を作成するために定義します。

例

冷蔵庫のドアは、冷蔵庫の部品表でファントム品目として定義されます。ドアの資材は、製造オーダーの冷蔵庫に関する資材リストにリストされます。

扱い単位

梱包と内容から一意に識別可能な物理的な単位。扱い単位には、品目を含めることができます。扱い単位には、品目の梱包に使用する梱包資材の構造があります。または、扱い単位がその構造の一部を構成します。

扱い単位には、次の属性が含まれています。

- 識別コード
- 梱包品目 (オプション)
- 梱包品目数量 (オプション)

品目を扱い単位にリンクさせる場合、その品目は扱い単位によって梱包されます。梱包品目は、扱い単位を構成するコンテナやその他の梱包資材のタイプを指します。たとえば、扱い単位を木枠に指定するには、扱い単位の梱包品目に木枠を定義します。

次を参照してください: 扱い単位構造

倉庫手順

倉庫オーダーと扱い単位を処理する手順。倉庫手順はさまざまなステップで構成されています。活動とも呼ばれるこれらのステップでは、入庫、保管、検査、出庫などを行うために倉庫オーダーや扱い単位を取得する必要があります。倉庫手順は倉庫オーダータイプにリンクされているため、倉庫オーダーに割り当てられます。

積荷

LN では、特定の日時に、特定の経路を使用して、特定の輸送手段で運搬されたすべての商品、出荷、あるいはそれら両方を指します。

販売オーダー

特定の条件にしたがって取引先に品目またはサービスを販売するために使用される合意。販売オーダーは、1 つのヘッダおよび 1 つ以上のオーダーラインから成ります。

取引先データ、支払条件、受渡条件などの一般オーダーデータは、ヘッダに保存されます。価格合意や納期など、発注される実際の品目についてのデータは、オーダーラインに入力されます。

キット

顧客からのオーダー時に合わせて納入される事前定義された品目のリスト

キットを定義することで、オーダー入力が容易にできます。キットは、構成要素のリストが含まれていて、単一品目としてオーダーされ、価格設定されます。販売オーダーラインでは、構成品目がリンクされます。キットの標準原価は、構成要素の標準原価の合計です。

キットの構成要素には、次のタイプがあります。

- 購買品目
- 製造品目

例: PC キットの構成要素は、通常、メインキャビネット、モニター、キーボード、およびマウスで構成されます。日曜大工 (DIY) 製品の場合、道具小屋キットに、壁や屋根の部品、蝶番付のドア、ドアの取っ手、および鍵を含めることができます。

出荷コンテナ

出荷を含む積荷の一部。コンテナに定義されている梱包品目によって、コンテナのタイプが決まります。

出荷

特定の日時に、特定の住所へ特定の経路で輸送されるすべての商品。積荷の識別可能な部分

出荷ライン

出荷詳細の個別ライン

出荷積荷目録

積荷、出荷、および導入されている場合はコンテナで構成される出荷構造を説明する、倉庫オーダーやオーダーセットに作成された出荷伝票。出荷構造には、部品表、またはキット構造に含まれる個別の品目、または複数品目を含むことができます。

取引先

顧客または発注先などの、商取引を行う当事者。顧客や発注先となる部署を組織内で取引先として定義することもできます。

取引先の定義には次の情報が含まれます。

- 組織の名前と主要な住所
- 使用される言語と通貨
- 課税および法定 ID データ

取引先の担当窓口担当者を取引先とします。取引先の状況によって、処理が実行可能かどうかが決まります。処理のタイプ (販売オーダー、請求書、支払、出荷) は取引先の役割で定義します。

販売オーダータイプ

オーダー手順の一部であるセッション、およびこの手順が実行される方法および順序を決定するオーダータイプ

直送

販売元が商品を購買元取引先からオーダーする処理。購買元取引先はまた、商品を販売先取引先に直接納入しなくてはなりません。販売オーダーまたはサービスオーダーにリンクされた購買オーダーを使用して、購買元取引先は商品を販売先取引先に直接納入します。商品は自社の倉庫から納入されないの、倉庫管理は関係しません。

販売業者管理在庫 (VMI) のセットアップでは、顧客倉庫の購買オーダーを作成することで直送が達成されます。

販売元は次の理由で直送を決定できます。

- 利用可能在庫の不足
- オーダー数量が時間内に納入できない
- オーダー数量を自社で輸送できない
- 原価および時間が保存される

バックオーダー

顧客オーダー不足分、または後日に納入される部分。品目に対する需要で、在庫が不十分であるため需要を満足できないもの

住所

アドレス関連の完全な詳細セットには、郵便住所または電話、ファックスおよびテレックスの番号、Eメール、インターネットのアドレス、課税目的の識別情報、および工順情報が含まれます。

在庫約定

オーダーに対する在庫の予約。倉庫内の商品の実際の保管状況は考慮されません。以前は固定引当と呼ばれていました。

イントラスタット申告

欧州連合の加盟国間での物理的な商品フローに関する統計的なレポート。商品フローの種類、発生元、および規模は、EU イントラスタット申告によって定期的に申告する必要があります。

これらの統計情報はEU イントラスタット申告によって定期的に申告する必要があります。欧州共同市場 (欧州共同体により 1993 年に始動) の体制に基づき、この申告は 1993 年以降、国の税務当局によって義務付けられています。

有効期限

レコードが有効である最終日。失効時間を指定しない場合、有効性は有効期限の最後、つまり 24:00 に終了します。

丸め係数

入力後に計算される金額または数量が LN で丸められる方法。数量および金額は、丸め係数の倍数に最も近くなるように丸められます。たとえば、丸め係数が 0.030000 の場合、数量 2,11 は 2,10 ($= 70 \times 0.030000$) に丸められます。数量 2,12 は 2,13 ($= 71 \times 0.030000$) に丸められます。

通貨の丸め係数と単位の丸め係数との違いは次のとおりです。

- 単位の丸め係数は、LN にデータを入力するとただちに適用されます。通貨の丸め係数は、LN に入力した金額には適用されず、その金額に対する適切な計算の実行結果に適用されます。
- 場合によって、単位の丸め係数を変更できますが、通貨の丸め係数は変更できません。

時間差委託

完成品の複数の構成要素の、異なる時間における納入。時間差委託は、最終委託が納入されるまで宣言されません。

在庫バッファ

特定の目的で在庫を予約できるリポジトリ。これを行うために、(在庫バッファと呼ばれる) 個別のオーダー発生元が使用されます。

製造品目

完成品および半組立品を製造できる品目。製造品目は、通常、組立で使用される構成要素を記述する部品表と、組立方法を記述する工順に関連しています。製造品目は生産品目とも呼ばれ、購入することができます。

オーダー日付

オーダーがマニュアルで指定された、または自動的に生成された日付

販売オーダー計測単位

販売オーダーの品目の寸法が示される単位

剰余

不完全なキットとなっている 1 つ以上の出荷済構成要素の数量。何らかの理由で販売オーダーラインを完了できない場合を除き、その他の構成要素は納入する必要があります。

部品表 (BOM)

製造品目で使用されるすべての部品、原料、および半組立品のリスト。このリストには、品目の製造に必要な各部品の数量が示されています。部品表は、製造品目のシングルレベルの製品構造を示します。

部品表レベル

製品が製造される場合、構成要素は半組立品に組み立てられます。次にこれらの半組立品は完成品に組み立てられます。各ステージで使用される構成要素は部品表に記述されます。各ステージは部品表の 1 つのレベルです。

車輪の構成要素のリストは、部品表の 1 つのレベルです。自転車の半組立品のリストは最上位のレベルで、しばしばレベルゼロとして参照されます。

例

自転車には 1 つのフレームと 2 つの車輪があります。フレームは 3 つの管から作成されています。車輪はそれぞれ 1 つのリム、1 つのハブおよび 35 本のスポークで作成されています。

主品目

製造オーダーの最終結果

主品目は、完成品 (倉庫への納入の場合) に変更されるか、そのまま直接顧客に納入されます。

メインキット

1 つのセット (たとえば、旅客機を貨物輸送機に改造するための材料と工具を含む航空機改造セット) で構成される品目のグループに相当する品目 (つまり、製造品目の 部品表 (BOM) で最上位に配置される完成品)。メインキットは、各種 サブキット で構成されます。

キットオーダー

拡張キット処理機能を使用して作成された販売オーダーまたは倉庫オーダー

サブキット

(サブ) 組立品の構成要素品目、または主品目であるファントム品目

オーダセット

オーダセットは、同じオーダのオーダラインをグループ化します。

オーダラインは、以下の属性が合致する場合にグループ化されます。

- 出荷元取引先
- 出荷先取引先
- 出荷元住所
- 出荷先住所
- 運送業者
- 出荷日
- オリジナル会社

索引

構成

- 出荷, 22
- 出荷コンテナ, 22
- 積荷, 22
- 構成要素, 31
- 適切なメニュー, 31
- 発効日, 31
- 所有権, 31
- 活動, 31, 32
- 仕様, 32
- 販売オーダーライン, 32
- 引当バッファ, 32
- ファントム, 12, 32
- 扱い単位, 33
- 部品表
 - 販売オーダーへのコピー, 8, 11
- 倉庫手順, 33
- 積荷, 33
 - 構造, 22
- キット処理
 - オーダー構造, 20
 - キットの出荷完了, 26
 - 概要, 7, 17
 - 構成要素ラインの変更, 29
 - 手順, 19
 - 出荷構造, 22
 - 設定, 18
- 構成要素ライン, 7
- 販売部品表, 7
- 構成要素処理
 - 構成要素ライン, 8
 - 販売部品表, 11
- 販売オーダー, 33
 - 部品表からのコピー, 8, 11
- ファントムレベル
 - スキップ, 12
- キット, 33
 - 剰余の処理, 14
 - 剰余評価, 14
- 剰余の処理, 14
- 剰余評価, 14
- 出荷コンテナ, 34

- 構造, 22
- 出荷, 34
 - 構造, 22
- 出荷ライン, 34
 - 構造, 22
- 出荷構造の構成 - コンテナ処理
 - 出荷構造, 23
- 出荷規則, 25
 - キットの出荷完了, 26
- 構成要素ラインと出庫ライン
 - 変更の結果, 29
- 出荷積荷目録, 34
- 取引先, 34
- 販売オーダータイプ, 34
- 直送, 34
- バックオーダー, 35
- 住所, 35
- 在庫約定, 35
- イントラスタット申告, 35
- 有効期限, 35
- 丸め係数, 35
- 時間差委託, 35
- 在庫バッファ, 35
- 製造品目, 36
- オーダー日付, 36
- 販売オーダー計測単位, 36
- 剰余, 36
- 部品表 (BOM), 36
- 部品表レベル, 36
- 主品目, 36
- メインキット, 36
- キットオーダー, 36
- サブキット, 37
- オーダーセット, 37
